

「化学物質」連携施策群補完的課題募集要領

「総合的リスク評価による化学物質の安全管理・活用のための研究開発」

補完的課題「化学物質情報プラットフォームの構築とその活用に関する調査研究」

有限な資源の有効活用を図りつつ、化学物質のトータルリスクを最小にする適正管理を実現するには、化学物質のトータルリスクを的確に評価する手法を緊急に開発する必要がある。そのために、化学物質の物性・有害性データについては、生物への慢性影響評価をはじめ様々な情報を収集する必要がある。さらに、環境モニタリングデータをはじめ化学物質のライフサイクル全体(素材製品～使用～廃棄等)からの曝露量を評価するに必要な様々なデータを、各データベースから使いやすい形で効率よく収集する必要がある。

本課題では、トータルリスク評価に必要な情報を明確にし、さらにその情報を利用しやすいように収集できる情報統合プラットフォームを構築するため、以下の調査・研究を行う。まず現在提案されている化学物質の性質に応じた曝露シナリオを網羅的に調査し、その適用範囲を検討する。調査した各曝露シナリオに従いリスク評価を行うにはどのような情報を得ることが適切であるのかを明らかにする。特に、曝露量を推定するにはどのような情報が必要であるか(例、環境モニタリングデータ、PRTRデータ、排出量データなど)、また利用可能であるかを調査する。これらの研究成果に基づき、収集した各種情報から必要なデータを効率良く取得し組織的にリスクを評価する手段を開発する。

選定基準(その他留意事項)

- ・ 曝露情報の調査に当たり、以下の項目を客観的に評価していることが明らかな調査研究となっていること。1)リスク評価を行うのに必要な曝露情報とその根拠、2)曝露情報を検討する根拠となる化学物質リスク評価書の範囲選定の妥当性、3)情報の属性・信頼性。
- ・ 情報収集システムの構築も視野に入れた調査研究であること。